

平成15年度決算に 対する各会派の見解

新たな発想の行財政運営を

公明党議員団

平成15年度は、公明党が要望していた小中学校の耐震補強工事、普通教室の冷房化、病後児保育などの保育サービスの拡充、図書館行政のサービス、放置自転車対策、東京警察病院建設に伴う道路の都市計画決定などが図られました。

中野区経営改革指針の下での区政運営でしたが、単年度収支が1億1千万円余の赤字で、2年連続の赤字となりました。実質収支比率は、1・4%で23区中最低となりました。人件費比

区民に信頼される姿勢を

自由民主党・民社クラブ

平成15年度は、中野区経営改革指針の下での区政運営でした。

実質単年度収支は、財政調整基金へ9億3千万円積み立てたため、8億1千万円の黒字になっています。しかし、債務の累積は679億円と膨大なものとなっており、特別区民税は前年度5億円落ちています。生活保護関連についても30万人の区民全員が3万円出しても不足する勢いです。「三位一体改革」は自治体の効率的財政運営を求め

自治体としての役割発揮を

日本共産党議員団

この年度は、保育園、特養ホーム、高齢者福祉センターなど次々と民営化・民間委託がすすまれました。田中区长が「民間でできるものは民間で」と、本来、区で行なうべき仕事を投げ出しているからです。

また、がん検診を有料化した区民負担を増やしました。受診率が減少するなど区民の健康が心配されます。その一方で、新たに17億円近く積み立てるとともに、中野駅周辺まちづくりとサンプラザを買い取るための

歳入確保への一層の努力を

TOKYO自民党中野区議団

平成15年度の決算では、区民生活に密着した多くの事業の廃止や、その規模の縮小などが続いています。しかし、区民生活を守るためには限界があります。

歳出削減をこれ以上続けられないため、区は歳入確保を重点課題として位置付け、さらに積極的に取り組む必要があります。

特に平成15年度は国民健康保険事業特別会計において約3億7千5百万円の歳入不足が生じるという前代未聞の事件がおきました。

区民と新しい中野の創造を

市民自治

少子高齢化が進み、03年度決算でも福祉を支える分野の歳出が大きく伸びました。これからの世代のために社会保障を安定的に維持できるようにすることは最優先の目標だと考えます。

区民福祉の将来に備え、財政調整基金の積立を行うなど持続可能な財政運営への転換、また組織や職員意識改革、民間やNPOの力を生かすことなど、同時進行で新しい公共経営の基盤作りへ向けた区民の努力を評価します。特に公募区民

職員一丸となった改革を!

民主クラブ

平成15年度は、中野区経営改革指針に基づき、人件費や事務経費の抑制、執行方法の見直し、未収金対策などの歳入確保の努力の結果、厳しい社会経済状況

にあるながらも、財政調整基金への積み立てを行ったうえ、8億1千万円の実質収支の黒字を出すことができました。

小中学校の普通教室の冷房化により、今夏の猛暑にも、子どもたちに快適な環境が作れました。保育園の民営化の推進ではさらにサ

財源の裏付がある区政運営を

無所属の会

決算期に、外部評価が問に合うようになったことは、行政経営の視点から、評価できます。しかし、評価される側である職員の意識改革がまだできていません。

財政を再建しなければとの思いは感じ取れますが、目の前の問題に振り回され、優先事項の見極めが区民の想いとずれています。

退職不補充により人員削減を進めているため、10年後には50歳以上の職員が5割を超える予定です。03年度は職員の病気休暇・休職

区議会各会派のEメールアドレス

- 公明党議員団 komei.nakanokugikai @ mbg.nifty.com
- 自由民主党・民社クラブ jimin.nakanokugikai @ mbg.nifty.com
- 日本共産党議員団 jcp.nakanokugikai @ mbg.nifty.com
- TOKYO自民党中野区議団 tjn.nakanokugikai @ mbg.nifty.com
- 民主クラブ min-ku.nakanokugikai @ mbg.nifty.com
- 無所属の会 mushozoku.nakanokugikai @ mbg.nifty.com
- 市民自治 siminjichi.nakanokugikai @ mbg.nifty.com